

○事業所名	生活支援ネットBe日本海倶楽部ステーション		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 6日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 2月 6日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者や子ども達のニーズに沿った支援プログラムを提供して満足度の向上を図っている。	・保護者や子ども達にニーズに沿って毎週のサークル活動や毎月のイベント活動を欠かさず実施し、その様子をおたよりで知している。	・サークルやイベント活動に関して、定期的にアンケートを実施して取んでほしい活動などを聞き取り支援に組み込んでいく。
2	・日々の子ども達の様子についてこまめな情報共有と共通理解が出来ている。	・毎日の連絡帳でのやりとりや送迎時に対面でこまめな情報共有を図っている。緊急時は電話連絡を通して速やかに保護者の方に情報伝達するように徹底している。	・電話連絡のみでなく、災害発生時などにはメールやSNS等を活用して速やかに情報伝達を図れる仕組みを整えていく。
3	・保護者や子ども達のニーズに沿った個別支援計画書が作成できている。	・定期的に保護者面談を実施して保護者のニーズをくみ取った個別支援計画書を作成している。	・保護者懇談に加えて、個別支援会議において学校や各連携機関の方の意見を取り入れられるような仕組みを整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の機会の減少。ペアレントトレーニング等の家族支援への情報共有やその機会が少ない。	・保護者の仕事や家庭の事情等で一堂に集まり交流する機会を調整する事が難しい。	・保護者のニーズに合わせて子ども達と一緒に参加できるような研修会を企画したり、地域で行っている勉強会等の機会を活用していく。
2	・地域の他の事業所や子ども達と関わる機会が少ない。	・地域にある事業所同士の距離が離れており気軽に交流する機会の確保が難しい。	・まずは同法人内にある他事業所の子ども達と交流するイベント活動を企画、実施する。
3	・ホームページやインターネットの活用が少ない。	・ホームページに掲載されている写真等が古いものが多く、最近の活動の様子をPRできていない。	・来年度事業所のホームページをリニューアルする予定なので、情報の更新やインターネットを活用した事業所のPRを積極的に行う。